

		環境教育専攻		専攻選択科目	
<b>地域環境概論</b> <b>Sustainable development: Local applications and potentialities</b>		2年	前期	2単位	選択 講義
		担当者(部屋番号)			
		藤 公 晴 (751)			
【 授 業 目 標 】					
<p>本講座では、地域の環境保全にかかる諸問題を「持続可能な開発」という概念を通して考え、地域の諸課題との相関に対する理解を深めることを基本的目標とする。具体的には、まずこの概念が現出・受容される政治プロセスを把握した後、こうした国連レベルで構築・推進されてきた概念と地域レベルの社会状況などの相性やギャップを照らしつつ、この概念の可能性と課題について理解を深める。こうした本講座の根底にある問題意識とは「持続可能な開発という概念は、地域の環境・開発問題に取り組む上でいかに有益なツールなのであろうか?」という問いです。今後この概念に様々な場面で遭遇し、各地域の活動で活用する機会を持つ受講生の認識を広げ、感受性を研ぎ澄まし、分析能力を高めることを目指す講座です。</p>					
【 授 業 方 法 】					
<p>リーディング(英文を含む)を中心としたディスカッションと個人プロジェクト。上述の通り、本講座は、次の四つの分野の学習を目的にカリキュラムを組んでいます。①概念の台頭と推移の把握(社会的政治的構築の把握) ②概念およびその推進にかかる社会的・コミュニケーション的課題の理解(学問言説の理解) ③持続可能性にかかる各指標の可能性と限界の考察(具現化にかかる課題の理解) ④概念の具現化とその課題について、各個人の課題を通して理解する(実践的理解と表現力の向上)。</p>					
【 授 業 計 画 】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 概要説明。自己紹介。リーディングについて。出欠や課題、受講にかかるルール説明確認。簡単なグループディスカッション。</li> <li>2 概念の台頭1 (UN ESCAP Virtual Conference Module I.)</li> <li>3 概念の台頭2 (スピーチや汎用例等の分析 国家元首や大臣がそのスピーチでどのように運用しているか)</li> <li>4 概念の台頭まとめ(ドライゼク第1章)</li> <li>5 Sustainable Development (SD)はどのように研究者らによって捉えられてきたか。</li> <li>6 SDはどのように研究者らに捉えられてきたか。</li> <li>7 SDはどのように研究者らに捉えられてきたか。まとめ</li> <li>8 個人課題について</li> <li>9 指標とその役割、課題 事例</li> <li>10 指標とその役割、課題 事例</li> <li>11 指標とその役割、課題 まとめ</li> <li>12 個人課題準備</li> <li>13 調整週</li> <li>14 課題発表1(相互評価)</li> <li>15 課題発表2 振り返りのパネル・ディスカッション ペーパー提出</li> </ol>					
教科書	『地球の政治学—環境をめぐる諸言説』 J.S. ドライゼク著, 丸山正次 訳(予定)		評価方法	1) 輪読当番 20% 2) ポリシーメモ作成 30% 3) 出席および参加度 20% 4) グループ課題 30% (レポートおよび発表、課題発表に対する学生間評価)	
参考書	その他の教材資料は随時配布ないしはウェブサイトなどを指定。		留意点	英文輪読を多数含む。また上記スケジュールについては変更の可能性あり。	